

前近代の東アジア史(1)

教科書PP.6～9



東アジアの地理





ロシア連邦

カザフスタン

アルタイ山脈

モンゴル
モンゴル高原

アンロイ山脈

大シアンリン山脈

東北地方

朝鮮民主主義
人民共和国

大韓民国

日本海

日本

ウズベキスタン

キルギス

テンシャン山脈

タジキスタン

パミール高原

タリム盆地

ゴビ砂漠

秦の長城

華北

黄海

ヒンドークシュ山脈

タクラマカン砂漠

クンルン山脈

隋の大運河

黄河

華中

東シナ海

太平洋

北回帰線

チベット高原

チンリン山脈

中華人民共和国

華南

(台湾)

南シナ海

フィリピン

インド

バングラデシュ

ミャンマー

ベトナム

ラオス

タイ

ベンガル湾

1000km



1 王朝交替の歴史

殷～清



殷

- ・前16世紀頃に成立
- ・神の意志を占って政治を行い、①(甲骨文字)で記録する。

周

- ・前11世紀頃に成立(都:鎬京 のちに洛邑)
- ・諸侯に封土を与える代わりに軍役, 貢物の義務を負わせる②(封建制)で統治。

春秋・戦国時代

- ・農業生産力の向上, 富国強兵を目指す諸侯の自立と抗争。
- ・儒家, 道家, 墨家, 法家などの多くの思想家:③(諸子百家)が登場し, 活躍する。





甲骨文字

・・・殷の時代に占いの結果を記録するのに用いられた。





春秋・戦国時代

…周王の権威が衰えると、諸侯は自立し、互いに争うようになった。戦国時代の七強国を**戦国の七雄**という。それぞれが王を自称し、富国強兵に努めた。



秦

- ・前221年, 政(のちの④始皇帝)によって中国が統一
- ・度量衡, 貨幣, 文字の統一
- ・全国を郡, 県に分け, 官僚を派遣して統治: ⑤(郡県制)
- ・北方の遊牧民の匈奴の侵入を防ぐために⑥(万里の長城)を修築

前漢

- ・前202年, ⑦(劉邦)によって建国(都: 長安)
- ・郡県制と封建制を合わせた⑧(郡国制)を採用
- ・前2世紀の⑨(武帝)のときに最盛期

後漢

- ・一時, 外戚の⑩(王莽)が漢に代わって⑪(新)を建国
⇒⑫(劉秀: 光武帝)が漢を再興(都: 洛陽)
- ・豪族の台頭, ⑬(黄巾)の乱以降は衰退, 滅亡へ



項羽



劉邦





鮮卑

高句麗

日本海

康居

烏孫

匈奴

楽浪

黄海

大宛

玉門関

敦煌

黄河

沛

垓下

西域

咸陽

長安

洛陽

長江

大月氏

パミール高原

于闐

羌

氏

パンジャーブ

パータリプトラ

マガダ

南海

交趾

日南

太平洋

シル川

アム川

アラビア海

0 1000km

- 秦の領域
- 秦の長城
- 漢の領域
- 匈奴の最大領域
- 張騫の行路